

第88期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

⊕ 戸田工業株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長執行役員

たから ぎ しげる
寶 來 茂

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。
ここに第88期第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)の中間報告書をお届けするにあたりまして、日ごろの当社グループに対するご理解とご支援に厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各国において外出禁止令や企業の操業停止、移動制限等による経済・社会活動の抑制が行われ、世界経済は急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。足元では、経済活動の再開に伴い、緩やかな回復の兆しが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通せず、依然として先行き不透明な状態が続いております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、今後拡大すると見込まれる電子素材市場を中心に販路拡大等の活動を進めるとともに、原価低減活動及び諸経費削減に努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、基幹事業である磁石材料及び着色材料の各市場において需要が低迷したことから、売上高は13,381百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

利益面においては、売上高減少による影響はあるものの、売上商品構成の変化や原価低減活動によるコスト削減、電池関連材料を営んでいる当社の子会社において、需要の増加に伴う稼働率が向上したことにより、限界利益が改善いたしました。

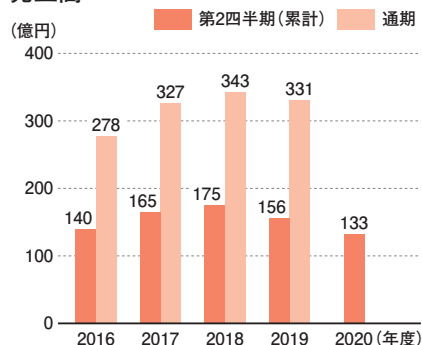
また、テレワークの実施及びオンライン会議システムの活用等、多様な働き方による業務効率化と活動経費の削減を推し進めたことに加え、全社的に諸経費削減に努めたことから、営業損失は473百万円(前年同期は営業損失544百万円)、経常損失は568百万円(前年同期は経常損失580百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は725百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失736百万円)となりました。

以上をふまえて第88期通期連結業績は、売上高27,500百万円、営業損失550百万円、経常損失500百万円、親会社株主に帰属する当期純損失900百万円を見込んでおります。

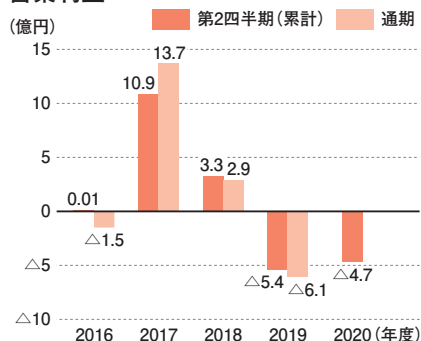
ここに、第88期第2四半期連結累計期間の事業概要をご報告申し上げます。今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)

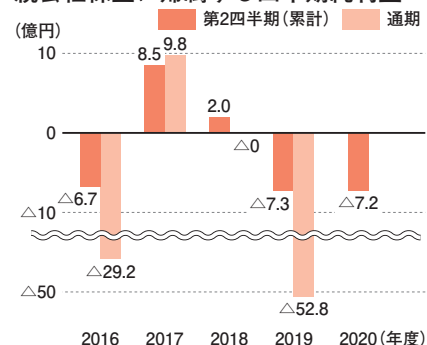
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益

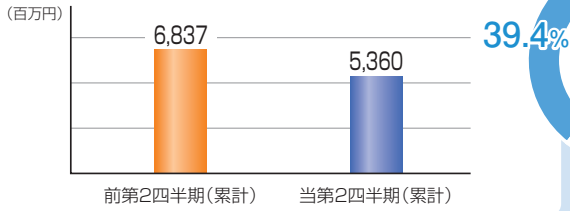


セグメント別概況



機能的顔料

売上高 5,360百万円
前年同期比 21.6%減



上期の活動POINT

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市場において需要が低迷したことから、売上高は前年同期比21.6%減の5,360百万円となり、セグメント利益は、前年同期比38.7%減の414百万円となりました。引き続き販路拡大及びコスト削減を進めて環境の変化に対応してまいります。また、高付加価値品、易分散顔料、分散体等の事業領域の拡大を見据えて活動するとともに、SDGsの実現に向けた環境関連材料の開発にも注力することで、社会への貢献を目指してまいります。



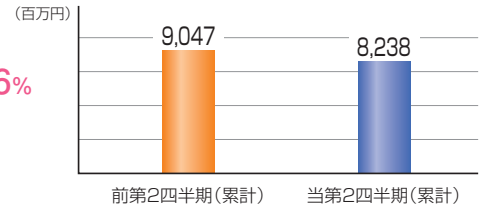
▲ カラー舗装用着色顔料施工例

(注) 上記売上高において、内部売上高等が、前第2四半期(累計)には8百万円、当第2四半期(累計)には10百万円含まれております。



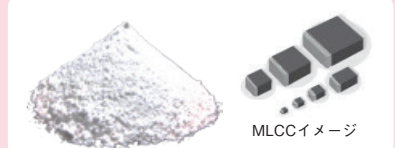
電子素材

売上高 8,238百万円
前年同期比 8.9%減



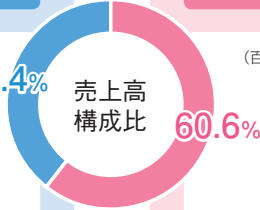
上期の活動POINT

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、基幹事業である磁石材料等の需要が低迷し、売上高は前年同期比8.9%減の8,238百万円となりました。セグメント利益については、売上商品構成の変化や電池関連材料の製造を営んでいる当社の子会社において、需要の増加に伴う稼働率が向上したことにより、限界利益が改善し、前年同期比115.1%増の480百万円となりました。今後につきましても環境変化の激しい市場動向を注視し、当社グループでの生産体制を整備することで機会損失を防ぎ、さらなる拡大を目指してまいります。また、電子素材市場においては、5Gの普及の加速や、自動車、家電、産業機器分野のIoT化進展等により、中期的には市場の拡大が見込まれる状況にあります。今後、国内・海外ともに消費環境が緩やかに回復し、当社グループにおきましても、モーター、センサー用材料であるフェライト磁石、ネオジウム磁石や誘電体材料であるチタン酸バリウムを中心に需要が高まると見込んでおり、需要拡大に備え適切に対応してまいります。



▲ 積層セラミックコンデンサ(MLCC)用チタン酸バリウム

(注) 上記売上高において、内部売上高等が、前第2四半期(累計)には219百万円、当第2四半期(累計)には206百万円含まれております。



事業所・関連会社

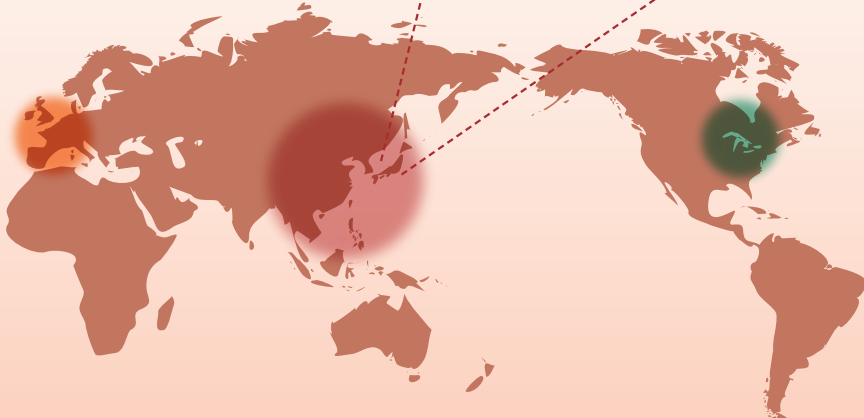
事業所

- 本社(広島県広島市南区)
- 東京OFFICE(東京都港区)
- 小野田事業所(山口県山陽小野田市)
- 大竹事業所(広島県大竹市)
- 創造本部(広島県大竹市)



主な関連会社

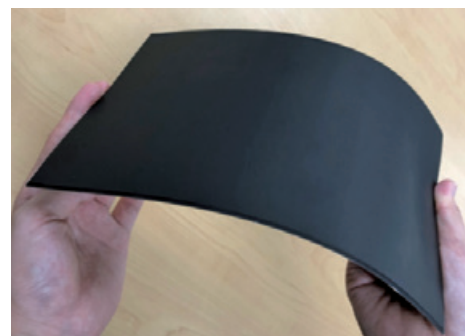
- 国内**
 - 戸田ピグメント株式会社(岡山県岡山市北区) 無機顔料の製造販売
 - 東京色材工業株式会社(東京都板橋区) 有機顔料の製造販売
 - 戸田ファインテック株式会社(広島県大竹市) 製造工場における業務の請負・派遣
 - BASF戸田バッテリーマテリアルズ合同会社(東京都港区) リチウムイオン電池用正極材料の製造販売
 - 株式会社セントラル・バッテリー・マテリアルズ(大阪府堺市) リチウムイオン電池用正極材料の製造販売
- 海外**
 - 戸田工業ヨーロッパ GmbH(独:デュッセルドルフ市) EUにおけるマーケティング・販売
 - BASF戸田アメリカ有限責任会社(米:イズリン) リチウムイオン電池用正極材料の製造販売
 - 戸田アドバンストマテリアルズInc.(加:サーニア市) リチウムイオン電池用正極材料の製造販売
 - 戸田フェライト코리아CO.,LTD.(韓:釜山広域市) ポンドフェライト材料の製造販売
 - 戸田イス CORPORATION(韓:江原道原州市) 磁性材料の製造販売
 - 戸田工業アジア(タイランド)Co.,Ltd.(タイ:アユタヤ県) 磁性コンパウンドの製造販売および着色顔料輸入販売
 - 美戸先進材料股份有限公司(台:桃園県) リチウムイオン電池用正極材料等の製造販売
 - 戸田塑磁材料(浙江)有限公司(中:浙江省) 磁性コンパウンドの製造販売
 - 浙江東磁戸田磁業有限公司(中:浙江省) ポンドフェライト材料の製造販売
 - 戸田麦格昆磁性材料(天津)有限公司(中:天津市) 希土類コンパウンドの製造販売
 - 戸田聯合実業(浙江)有限公司(中:浙江省) 無機顔料の製造販売
 - 戸田磁鉄(深圳)有限公司(中:広東省) ゴム磁石の製造販売
 - 戸田国際貿易(上海)有限公司(中:上海市) アジアにおけるマーケティング・販売



EV向け非接触給電用厚膜超大判フレキシブルフェライトシートの製品化

当社は、長年培った酸化鉄・フェライト技術を用いて、スマートフォンに搭載されるNFCアンテナ用のフレキシブルフェライトシートを2006年から、またスマートフォンに搭載される非接触給電用のフレキシブルフェライトシートを2017年から本格量産しており、現在では大竹事業所をマザー工場に、グループ企業や提携企業を含めて世界最大規模の供給能力を保有しています。

昨今はEV向けにも非接触給電の採用が進められており、業界におけるEV向け非接触給電システムの開発・製品化が加速しています。ただし、スマートフォンとは異なり、EV向け非接触給電用途では、より高特性のフェライト材料と厚膜化が必要とされています。一方で、フェライトはセラミックスであるため、振動による割れや欠けが問題視されますが、当社のフレキシブルフェライトシートは高い耐衝撃性を示すため、その技術が注目されています。そこで当社の韓国持分法適用会社「戸田イス CORPORATION」でのMn-Zn系フェライトの開発・製造のノウハウと、当社のフレキシブルフェライトシートの開発・製造のノウハウを融合し、シナジーを発揮した取り組みを目指しています。また、EV向け非接触給電では、非常に大きなサイズのアンテナコイルが必要



EV向け非接触給電用
厚膜超大判フレキシブルフェライトシート



第3回名古屋オートモティブワールドでの出展ブース

とされるため、当社のシート成膜技術を利用し、プレス成形では困難な超大判のフレキシブルフェライトシートも製造することが可能です。

EV向け非接触給電システムのインフラが整備されて市場が拡大すると予測される2025年を目標に年間100万台規模に対応できる供給能力を構築し、事業の拡大を目指してまいります。

なお、2020年10月21日～23日にポートメッセなごやで開催された「第3回名古屋オートモティブワールド ークルマの先端技術展ー」に出展しました。本展示会には初出展ながら多くの方々にご来場いただき、本EV向け非接触給電用厚膜超大判フレキシブルフェライトシートもご紹介しました。

四半期財務諸表（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	前連結会計年度	当第2四半期末
		2020年3月31日現在	2020年9月30日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産		21,107	20,984
固定資産		22,762	23,012
有形固定資産		12,932	13,052
無形固定資産		250	213
投資その他の資産		9,579	9,747
資産合計		43,870	43,997
負債の部			
流動負債		18,296	18,074
固定負債		12,982	13,934
負債合計		31,279	32,009
純資産の部			
株主資本		11,227	10,501
その他の包括利益累計額		284	399
新株予約権		49	57
非支配株主持分		1,029	1,029
純資産合計		12,590	11,988
負債純資産合計		43,870	43,997

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)
		自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2020年4月1日 至2020年9月30日
		金額	金額
売上高		15,657	13,381
営業損失(△)		△ 544	△ 473
営業外収益		103	165
営業外費用		140	260
経常損失(△)		△ 580	△ 568
特別利益		4	7
特別損失		36	15
税金等調整前 四半期純損失(△)		△ 612	△ 576
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)		△ 736	△ 725

※本書記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	19,300,000株
発行済株式の総数	6,099,192株
株主数	5,923名
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部

株主の構成

所有株数別分布状況 (持株比率)	所有者別分布状況 (持株比率)	地域別分布状況 (持株比率)
・5万株以上 56.5%	・個人その他 37.4%	・北海道 0.3%
・5千株以上5万株未満 14.5%	・その他国内法人 28.3%	・東北 0.5%
・5百株以上5千株未満 17.8%	・金融機関 25.4%	・関東 56.7%
・5百株未満 11.2%	・証券会社 1.3%	・中部 4.9%
	・外国法人等 7.6%	・近畿 8.1%
		・中国 19.6%
		・四国 1.0%
		・九州 1.4%
		・海外 7.5%

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
TDK株式会社	1,260	21.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	252	4.4
株式会社広島銀行	217	3.8
INTERACTIVE BROKERS LLC	199	3.5
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・TDK株式会社退職給付信託口)	199	3.5
堤浩二	148	2.6
株式会社中国銀行	120	2.1
高橋由紀子	102	1.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	93	1.6
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	87	1.5

(注) 1.上記のほか当社所有の自己株式335千株があります。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株式事務
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間9:00~17:00(土日祝日を除く)
(ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告方法 電子公告
(<https://www.todakogyo.co.jp/docs/ir/j/index.html>)
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

- 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。
- 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

会社概要

会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	戸田工業株式会社 (TODA KOGYO CORP.)
本店所在地	広島県広島市南区京橋町1番23号 ☎082(577)0055
設立	1933年11月30日(創業:1823年)
資本金	74億77百万円
事業目的	1. 顔料の製造、加工および販売 2. 磁性材料の製造、加工および販売 3. その他の無機薬品の製造、加工および販売 4. 環境保全設備の設計、施工および販売 5. 記録媒体の製造、加工および販売 6. 土木工事、とび・土工工事、鋼構造物工事 および舗装工事の請負、企画、設計、監理 およびコンサルティング 7. 前各号に付帯する一切の業務
ホームページアドレス	https://www.todakogyo.co.jp/

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	寶 來 茂
取締役専務執行役員	岡 宏
取締役執行役員	釣 井 哲 男
取締役執行役員	青 木 功 莊
取締役(社外)	水 野 隆 文
取締役(社外)	松 岡 大
取締役(社外)	生 嶋 太 郎
監査役	中 川 隆 行
監査役(社外)	長谷川 臣 介
監査役(社外)	金 澤 浩 志
監査役(社外)	浦 勇 和 也